

～平成28年12月9日(金)に、高校生を対象とした
治水インフラとICT活用工事の現場見学会を行いました～

江戸川河川事務所では、工事受注者と連携し、建設業の未来の担い手となる学生などを対象に、建設業への理解と興味・関心を深めて頂くことを狙いとして、高校生等を対象に現場見学会を開催しています。

今回は11月22日に開催した見学会の第2弾として、静岡県立科学技術高校都市基盤工学科の1年生39名を対象に、当事務所で所管している「首都圏外郭放水路」や「高規格堤防」等の他、ICT建機等を活用し現在工事中の「首都圏氾濫区域堤防強化対策」の現場見学を12月9日に開催しました。

高規格堤防や首都圏氾濫区域強化対策等の講義状況



当事務所災害対策室での防災対策の講義状況



UAV(ドローン)のデモンストレーション見学



施工業者(川村建設(株))によるICT活用工事の説明



現場見学会の様子
(ドローンで撮影)

【参加した生徒、先生からの感想(抜粋)】

- ・最新のICT建設機械やドローンを間近で見れて、工事現場で行う仕事のイメージが湧きました。
- ・高規格堤防や首都圏氾濫区域堤防強化対策事業だけでなく、他の現場にも興味が湧きました。
- ・今回の現場見学会で学んだ内容が、建設業(土木分野)への興味・関心の向上につながり、卒業後は建設業へ進みたいと考える契機になるのではないかと考えています。

【今回の現場見学会をサポートした当事務所職員から】

当事務所での取組は今回で2回目になりますが、実際に治水インフラ整備箇所や工事現場での最新の建設機械を見学して頂いたことで、参加学生に建設業界への興味を高めて貰えたと感じています。今後もこの取組を通して、多くの学生に建設業界を知って貰い、将来同じ業界で働く一員になって貰えたらと思います。(工務一 最上)



治水インフラ(首都圏外郭放水路)の見学



首都圏外郭放水路は、完全通水してから今年で10年を迎えます。